

人権だより

あかまっ子

平成30年4月
赤麻小人権教育係

☆ 本校では、児童一人一人を大切にしている人権教育を推進しています。この「人権だより」を親子で読んでいただき、人権に関してご家庭でも話題としていただければ幸いです。



人権ってなんだろう・・・？

人権とは「すべての人が生まれながらにもち、自由で平等に生きていくための権利」です。

- ・健康で安全な生活がしたい。・自分の個性や能力を發揮したい。
- ・自分の思いをつたえたい。・目標や夢に向かって進みたい。

きっとだれもが願っています。

人権を尊重し守るためには、自分とまわりの人の生活を見つめ、心豊かな人間関係づくりを進めていくことが大切です。

- ・お互い助けあっている。・安心して関われる仲間がいる。
- ・相手の気持ちを大切にしている。

だれもが人と共に生きているのです。



赤麻小の人権教育の目標です

- ㊦ かるい子：思いやりの心を持ち、協力し合って生活できる子
- ㊧ しこい子：互いに支え合って学び、正しく判断できる子
- たく㊨ しい子：健康や安全に留意し、生命の大切さがわかる子

赤麻小の子どもたちをこのような子に育てたいと考えています

- ◎ 友だちの気持ちを思いやり、相手の立場に立って考えることができる子
- ◎ 身の周りの偏った考えや差別に気付き、そのことが正しくないことを理解できる子
- ◎ 科学的、合理的に正しく物事を考え、判断することができる子
- ◎ 自分の思いや考えを、自分なりの方法で表現することができる子
- ◎ 互いに認め合い、協力し合って、問題を解決することができる子

学年の目標を立てて、成長に合わせて指導しています

- 第1学年：人の話をよく聞き、友達と仲よくしよう。
- 第2学年：きまりを守って、みんなと仲よくしよう。
- 第3学年：みんなと話し合い、仲よく助け合おう。
- 第4学年：友達の気持ちを大切にし、きまりを守って、仲よく助け合おう。
- 第5学年：生活のなかでの偏見や不合理に気付き、その人の立場に立って考え、行動しよう。
- 第6学年：人権尊重の心を踏まえ、差別や偏見のある言動を見抜き、学校生活の向上に努めよう。

☆ 学校・地域・家庭での生活が人権教育の基本です。

子どもたちは、学校や地域、家庭での生活の中で成長しています。“学校”“地域”“家庭”の中で、お互いを大切にし、仲よく助け合って生活していれば、子どもたちの人権感覚は自然に身につくものです。大人一人一人が、子どもたちにとってのよい先生となれるよう毎日を過ごしていきたいものですね。

☆ 家族とやってみよう！

人権クイズ ～それって私の思いこみ～

韓国では、日常的な食事作法とされるものがあります。選んでチェック欄に○か×をつけましょう。

① はしをお椀の右横に縦に置く。	
② ご飯茶碗やお椀などを手に持って食べない。	
③ 出していただいた料理は残さずきれいに食べる。	

答え

- ① ○：日本では、はしを横に並べますが、韓国では、はしの先を相手に向けるようにして縦におきます。
- ② ○：韓国では食器やお椀を食卓に置いたまま食べます。そのため、韓国独特のスプーン（スッカラ）、はし（チョッカラ）は食器を置いたままでも食べやすいように長めにできています。
- ③ ×：韓国では食べきれないほどたくさんの料理を出すことがおもてなしです。出された料理を残しても大丈夫です。残したことが「十分にいただきました」という気持ちを表すこととなります。逆に、接待のときにすべて食べてしまうと「足りなかった」という意味になることがあります。

文化が異なると、生活習慣も異なることがあります。
他文化を理解し、互いに尊重し合うことが大切です。